

教科名	国語	週時数	3 時間	学年	3 年生
使用教科書及び副教材		・教科書：国語3（光村図書） ・ （ ） ・国語の学習(明治図書) ・すらすら基本文法(浜島書店) ・書き方レンジャー(正進社)			

国語の学習で 目指すこと	知識・技能	- 既習漢字に加えて、新出漢字を正しく読んだり書いたりして、意味を理解することができる。 - 言葉遣いや語句、文法などの表現を理解し、語彙を豊かにすることができる。 - 目的に応じて楷書や行書を書いたり、それに調和した仮名を書いたりすることができる。 - 古典の仮名遣いや漢文の読み方を理解することができる。
	思考力 判断力 表現力	- 既習漢字に加えて、新出漢字を読んだり書いたりして、文章の中で適切に使うことができる。 - 文学的な文章や古典を朗読し、登場人物や作者の思いを想像することができる。 - 説明的文章の構成を理解し、筆者の主張を捉えることができる。 - 立場や考えの違いをふまえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手を尊重して話し合ったりすることができる。 - 構成を工夫して、分かりやすく表現することができる。 - 文章の内容や表現に注意して、読むことができる。
	主体的に 学習に取り組む 態度	- 目的や場面、意図に応じて積極的に話す、聞く、書く、読む活動に取り組み、考えをまとめたり広げようとするすることができる。 - 読書を生活に役立てようとするすることができる。 - 広い範囲から情報を集め、効果的に活用することができる。
学習の 進め方	授業 について	- 指名されていなくても自分から考えようと心がけ、話す・聞く・書く・読む活動に積極的に取り組もう。 - 授業中の発表では、伝え合うことを意識して、工夫して話し合おう。 - 单元ごとに国語の学習に取り組み、理解を深めよう。 - 授業の初めに書き方レンジャーに取り組み、読解力を身に付けよう。 - 文法の学習内容はワークやプリントを活用し、書き込みをしたり、繰り返し復習をしよう。 - 授業中は考えながらノートを取り、必要に応じて自発的に書き込んだり、色ペンを使ったりするなどの工夫をして、復習に活用できるようにしよう。 - 漢字テストや小テストなど、授業での重要なポイントの復習を中心に、基礎学力を定着させよう。
	家庭 学習	- 宿題（漢字・ワークなど）は必ずしよう。 - 漢字テストなどの前には、自分でテストをするなど、工夫して復習しよう。 - 新聞や本などを読んで、読書に親しみ、生活に役立てよう。
	定期 テスト	- 漢字の読み書きや語句の意味、さらに文法や表現、文学史の知識など、覚えたことを確認しよう。 - ワーク（漢字、文法など）やプリントを繰り返し解こう。 - ノートやプリントで、授業の重要なポイントを確認して覚えよう。 - プリントやワークでの記述（書く）問題は、もう一度自分でやってみて、すらすら書けるようにしておこう。
学習上の 注意	- ワークは自分の力で取り組み、きちんと答え合わせをしよう。 - 漢字力養成ギブスなどを活用して、漢字は反復練習を心がけよう。 - 文法は積み重ねの学習なので、苦手なところはもう一度ふり返って復習しよう。	

国語科 3年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価					
			評価の観点		評価の場面・方法			
世界はうつくしいと	詩歌	4	知識・技能	・話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見を区別して、話すことや聞くこと、書くことができる。 ・さまざまな文章に応じた読み取りができる。 ・言葉の特徴やよまりを理解することができる。 ・さまざまな古典について知る。 ・さまざまな表現技法を理解し、使うことができる。 ・整った楷書を書くことと、行書の基礎を理解して、書くことができる。	・授業の様子 ・言語に関するもの ・定期テスト ・漢字テスト			
握手	小説							
意見を聞き、適切さを判断する	話す・聞く							
説得力のある構成を考えよう	話す・聞く	5						
相手や場に応じた言葉遣い	言語							
学びて時に之を習ふ	漢文							
作られた「物語」を超えて	論説	6						
論理の展開を意識して書こう	書く							
熟語の読み方	言語							
俳句の可能性 俳句を味わう	俳句	7						
言葉の釣り糸を垂らす	随筆							
和語・漢語・外来語	言語							
挨拶ー原爆の写真によせて	詩歌	9	思考力・判断力・表現力	・目的や場面に応じて話し合いをすることができる。 ・目的や意図に応じて、相手に伝わる文章を書くことができる。 ・要旨を捉えたり、必要な情報を読み取ることができる。 ・場面や内容に応じて、相手に伝わるように音読をすることができる。 ・相手の反応を踏まえ、分かりやすく伝わるように話したり、考えながら聞き取ることができる。	・授業の様子 ・聞き取りテスト ・パフォーマンス課題 ・定期テスト ・課題作文（ワーク等）			
故郷	小説							
論理の展開を整える	書く							
慣用語・ことわざ・故事成語	言語							
聞き上手になろう 漢字の造語力	話す・聞く 言語					10		
複数の意見を読んで、考えよう	論説							
考えを効果的に伝えよう	書く							
初恋	詩歌					11		
和歌の世界 君待つとー万葉・古今・新古今	古文							
夏草 ー「おくのほそ道」から	古文							
それでも、言葉を	論説					12		
話し合いを効果的に進めよう 合意形成に向けて話し合おう	話す・聞く 話す・聞く							
行書	書写							
温かいスープ	随筆	1				主体的に学習に取り組む態度	・課題意識をもって学習に取り組む。 ・積極的に授業に取り組み、授業での学びを自己の生活の中に生かそうとしている。	・授業の様子 ・宿題などの提出物 ・暗唱テスト ・ノート
アラスカとの出会い	随筆							
律儀な桜	随筆							
わたしを束ねないで	詩歌							
三年間の歩みを振り返ろう	話す・聞く 書く	2						
初日	詩歌	3						
文法のまとめ	文法							

教科名	社会	週時数	4 時間	学年	3 年生
使用教科書及び副教材		教科書：「新しい社会 歴史」（東京書籍） 「新しい社会 公民」（東京書籍） 副教材：「歴史の学習 2・3」（浜島書店）「公民の完全学習」（正進社） 「未来へつなぐ公民資料集2024」（新学社）			

社会の学習で 目指すこと	知識・技能	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。 社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
	思考力 判断力 表現力	社会的事象から課題を見出し、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を文章やレポートの作成を通して適切に表現している。
	主体的に 学習に取り組む 態度	社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、よりよい社会を考え自覚を持って責任を果たそうとしている。 自らの学習状況を把握し、知識の取得や思考を深めるにはどうすればよいかについて自ら考え、主体的に取り組む。定期テスト等で自分の理解状況を確認し、自分自身で計画・調整しながら学習を進めていく。
学習の 進め方	授業について	- 教科書・資料集・ワーク・プリントを使って授業を進めます。 - 写真や動画などの視覚的教材を使用していきます。 - 毎時間集中して、授業を受けましょう。毎時間振り返りを丁寧にしましょう。 - 提出物は必ず締め切りを守りましょう。 - プリント類は、ファイルに挟んできちんと管理しましょう。 - 自分で考える課題に対して、自分の力で取り組む意識を持ちましょう。答えを待っているだけでは力つきません。人と同じでなくても、間違っていないので、自分の考えを自分の言葉で表現するようにしましょう。
	家庭学習	- 教科書の重要語句を理解し、覚えましょう。 - 学習した内容を教科書・資料集・プリント・ワークで復習しましょう。 - レポートでの課題学習があります。しっかりと書きましょう。 - 特に公民の分野では現代社会のできごとについて知っておくことが必要です。ニュースを見たり新聞を読んだりして日頃から情報を取り入れるよう意識しましょう。 - ミライシードを活用し、学習した内容を振り返りましょう。
	定期テスト	- 授業で学習したことを中心に出題します。教科書をしっかり読み、重要語句を理解し、覚えましょう。 - プリントで授業の内容を確認し、ワークで力をつけましょう。 - 繰り返し復習しましょう。解答した問題は何度も見直しましょう。
学習上の 注意	- 社会科は、社会的事象についての知識を身につけ、その知識を使って社会的な思考力を養う教科です。ただ、誰でも一度にたくさんの内容を覚えることはできません。何度も繰り返し学習することが大切です。また、「なぜ？」という疑問を持ちながら学習することも大切にしましょう。 - プリントやワークを継続的に学習することにより、基本的な知識を身につけることも効果的です。 - 公民の分野では生活に結びついたことがたくさんあります。日頃からニュースに興味を持ちましょう。	

社会科 3年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価					
			評価の観点		評価の場面・方法			
第5章 開国と近代日本の歩み	1 明治維新	4	知識・技能	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。 社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	・ 定期テスト ・ 資料の読み取り			
	2 日清・日露戦争と近代産業							
第6章 二度の世界大戦と日本	1 第一次世界大戦と日本	5						
	2 世界恐慌と日本の中国侵略							
	3 第二次世界大戦と日本							
第7章 現代の日本と世界	1 戦後日本の発展と国際社会	6						
	2 新たな時代の日本と世界							
〈公民〉 第1章 現代社会の特色と私たち	1 現代社会の特色と私たち	7						
	2 私たちの生活と文化							
	3 現代社会の見方や考え方							
第2章 個人の尊重と日本国憲法	1 人権と日本国憲法	9				思考力・判断力・表現力	社会的事象から課題を見出し、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を文章やレポートの作成を通して適切に表現している。	・ 定期テスト ・ 論述やレポートの作成 ・ グループでの話し合い
	2 人権と共生社会							
	3 これからの人権保障							
第3章 現代の民主政治と社会	1 現代の民主政治	10						
	2 国の政治の仕組み							
	3 地方自治と私たち							
第4章 私たちの暮らしと経済	1 消費生活と市場経済	11						
	2 生産と労働							
	3 市場経済の仕組みと金融							
	4 財政と国民の福祉	12						
	5 これからの経済と社会							
第5章 地球社会と私たち	1 国際社会の仕組み	1	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、よりよい社会を考え自覚を持って責任を果たそうとしている。自らの学習状況を把握し、知識の取得や思考を深めるにはどうすればよいかについて自ら考え、主体的に取り組む。定期テスト等で自分の理解状況を確認、自分自身で計画・調整しながら学習を進めていく。	・ 定期テスト ・ ノートやレポートにおける記述 ・ 授業中の発表 ・ 授業中の態度 ・ ワーク ・ 振り返りシート			
	2 さまざまな国際問題							
	3 これからの地球社会と日本							
〈入試対策問題演習〉 地理・歴史・公民の復習	1 地理の復習	2						
	2 歴史の復習							
	3 公民の復習							
		3						

教科名	数学	週時数	4 時間	学年	3 年生
使用教科書及び副教材	「未来へひろがる 数学3」(啓林館) 「数学の問題ノート」(新学社)				

数学の学習で 目指すこと	知識・技能		数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
	思考力 判断力 表現力		事象を数理的に考察する力や図形において論理的に考察し、表現する力、データを読み取り、考察し、判断する力を養う。
	主体的に 学習に取り組む 態度		数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。
学習の 進め方	授業 について	数 学 で こ と	1 意欲的に授業に参加する姿勢をもつこと 2 基本的な知識を習得すること 3 正確に計算できる力をつけること 4 考え工夫してみようとする姿勢をもつこと
		授 業 の 受 け 方	1 先生や仲間の話をしっかり聞こう。 2 ノートをしっかり書こう。 3 とにかくやってみよう。 4 間違えたところは、なぜ間違えたかを考えよう。 5 積極的に発表しよう。 6 グループ活動で課題を解決しよう。
	家 庭 学 習		1 その日のうちにノートを見直そう。 ・授業でやった問題をもう一度やってみよう。 2 宿題とワークをやろう。 ・宿題は、必ずその日のうちにやろう。 ・習ったところのワークを少しずつ進めておこう。
	定 期 テ ス ト		1 教科書やワークの問題を何度も繰り返してやろう。 ・教科書の例題をやり直そう。 ・ワークは日頃から進めておき、わからなかった部分や間違えた問題を、もう一度確認しよう。 ・ノートに書かれたポイントを確認し直そう。 2 わからないところは、先生や友達に聞いてわかるようにしよう。 3 テストでは見直しをしっかりとしよう。 4 テストは保管し、間違えた問題はやり直しておこう。
学習上の 注意	・授業中は集中し、関心を持って意欲的に問題に取り組もう。 ・授業のノートは、途中の計算や考え方を書いたり、大事だと思ったことを自分の言葉でまとめたり、線を引いて見易くするなど工夫をしよう。 ・答えより解法の途中経過を大切にしよう。 ・自分の考えはどんどん発表しよう。 ・わからないところは、早いうちに先生に質問しよう。 ・「わかる」→「できる」を目指して、たくさんの演習問題を解いてみよう。 ・グループ活動で課題解決を進めていこう。 ・提出物はすべて期日を守って提出しよう。		

数学科 3年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価			
			評価の観点	評価の場面・方法		
1 章 式の展開と因数分解	1 節 式の展開と 因数分解	4	知識・技能	・基礎的な事柄や公式を理解している。 ・解き方を理解し、数学的に計算や作図の処理ができる。 ・事象を数学的にとらえ、式や表、グラフ、図形などで表現できる。	・授業中の取り組み	
	2 節 式の計算の利用 章末問題	5			・定期テスト	
2 章 平方根	1 節 平方根	6			・小テスト	
	2 節 根号をふくむ 式の計算 3 節 平方根の利用 章末問題				・振り返りシート ・提出物の内容	
3 章 二次方程式	1 節 二次方程式	7				
	2 節 二次方程式の 利用 章末問題					
4 章 関数 $y=ax^2$	1 節 関数とグラフ	9	思考力・判断力・表現力	・文章問題を読み取り、気付いたことや自分の見方や考え方を表現できる。 ・身の周りの事象について、数学的な見方や考え方ができる。 ・データを読み取り、推定することによって、判断することができる。	・授業中の取り組み	
	2 節 関数 $y=ax^2$ の 値の変化	10			・定期テスト	
3 節 いろいろな事象 と関数 章末問題	・小テスト					
5 章 図形と相似	1 節 図形と相似				11	・振り返りシート
	2 節 平行線と線分の 比 3 節 相似な図形の 計量 4 節 相似の利用 章末問題	・提出物の内容				
6 章 円の性質	1 節 円周角と中心角 2 節 円の性質の利用 章末問題	12	主体的に学習に取り組む態度	・数学的活動の楽しさや数学のよさを感じ、意欲的に取り組む。 ・数学を活用して、生活や学習に活かそうとする。 ・自分自身の取り組みを振り返るとともに、さまざまな考えを知ろうとする。	・授業中の取り組み	
7 章 三平方の定理	1 節 直角三角形の 3 辺の関係	1			・小テスト	
	2 節 三平方の定理の 利用 章末問題				・振り返りシート	
8 章 標本調査と データの活用	1 節 標本調査 章末問題	2			・提出物の内容	
3 年間の総まとめ		3				

教科名	理科	週時数	4 時間	学年	3 年生
使用教科書及び副教材		教科書「未来へひろがるサイエンス」3年生 啓林館 理科の自主学習（新学社） Wプリント（新学社）			

理科の学習で 目指すこと	知識・技能		・授業で学習した内容や、実験・観察の結果等から自然に関する事物・現象についての概念や原理・法則を理解し、知識として身につける。 ・実験・観察において、正確にそして安全に充分注意し、実験の基本的な操作ができる。また、実験から得られた結果を表やグラフ、図などを用いて表現することができる。
	思考力 判断力 表現力		・目的・見通しを持って実験・観察を行い、その結果について特徴や規則性、関係性を見つけ出し、自分の言葉でレポートにまとめるなど、科学的に考えることができる。また、探求の過程を振り返ることができる。
	主体的に 学習に取り組む 態度		・身近な自然の事物や身の回りの現象について、興味や関心をもち、進んで授業・実験に参加することができる。 ・意欲をもって積極的に実験・観察を行ったり、授業では人の話をしっかりと聞き、発表したり、話し合いをするなど、科学的に探求しようとするすることができる。
学習の 進め方	授業 について	授 業	・考え・話し合うとき、聞くとき、書くときのけじめをつけよう。 ・板書をノートに書くときは、後で見直しができるように、見出しをつけたり、色を変えたり、下線を引くなど工夫して書こう。 ・話し合いなどには、積極的に挙手をして発表しよう。
		実 験	・実験においては、常に危険が伴うことを理解し、安全面を考え、集中して取り組もう。 ・実験には必ず目的があるので、一つ一つの操作を行う意味をしっかりと確認しよう。 ・班のメンバーと協力し、実験を行うだけでなく、準備や片付けも素早く行おう。 ・実験を行う際には、結果をよく見て、自分なりの言葉でその結果からわかることを表現できるように心がけよう。
	家 庭 学 習		・その日学習した内容について、必ずノートを見返して復習をしよう。 ・ワークは、宿題として課されたときだけでなく、学習した内容について家で復習するときにも取り組もう。また、間違えたところは解説をしっかりと読み、教科書やノートもきちんと確認をしよう。
	定 期 テ ス ト		・ワークは1度だけでなく、何度も繰り返し取り組み、苦手なところを無くせるようにしよう。 ・間違えた問題は答えを写して終わりではなく、解説もしっかりと確認し、どうしてその答えになるのかを理解しておこう。 ・疑問に思うところは、そのままにせずに質問して解決しよう。 ・終わったテストの問題や解答も保管し、次は間違えないように見直しをしておこう。
学習上の 注意	・1時間の授業を大切にし、集中して取り組む。また、積極的に参加する。 ・実験の結果や考察は自分の言葉で表現できるように心がける。 ・身の回りの自然や事物・現象を不思議だなという目で見て、学習した内容と、身の回りの自然や事物・現象との関連を考えてみる。 ・実験は常に目的意識を持って取り組む。		

理科 3年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価					
			評価の観点		評価の場面・方法			
【エネルギー】 運動とエネルギー	・力の合成と分解 ・物体の運動 ・仕事とエネルギー ・多様なエネルギーとその移り変わり ・エネルギー資源とその利用	4	知識・技能	・基本的な概念・原理・法則を理解している。 ・基礎知識が定着している。 ・実験・観察の操作や目的を理解している。 ・基本操作を習得している。 ・目的を把握し、実験結果をまとめることができる。	・定期テスト ・小テスト ・観察・実験レポート ・ワークシート、ノート ・実験中の様子（技能）			
		5						
		6						
【生命】 生命の連続性	・生命の増え方と成長 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の種類の多様性と進化	7						
【物質】 化学変化とイオン	・水溶液とイオン ・電池とイオン ・酸・アルカリと塩	9				思考力・判断力・表現力	・課題を見だし、解決することができる。 ・実験観察結果・グラフ・表などを分析し、考察することができる。 ・仕組み・法則・要因などを推理し、説明することができる。	・定期テスト ・小テスト ・観察・実験レポート ・振り返り ・ワークシート、ノート ・話し合いの様子 ・発表
		10						
【地球】 宇宙を観る	・地球から宇宙へ ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方	11						
		12						
【環境】 自然と人間	・自然界のつり合い ・さまざまな物質の利用と人間 ・科学技術の発展 ・人間と環境 ・持続可能な社会をめざして	1	主体的に学習に取り組む態度	・興味関心を持ち、進んで学習に参加している。 ・まじめな態度で集中して取り組むことができる。 ・発表を進んですることができる。 ・忘れ物がなく、提出物をきちんと出すことができる。 ・学習した内容を、身の回りの自然や事物・事象と関連させて考えることができる。	・振り返り ・ワークシート、ノート ・観察・実験レポート ・授業中の様子 ・提出物 ・発表 ・自由研究			
		2						
3年間の総復習	仕上げ問題	3						

教科名	音楽	週時数	1 時間	学年	3 年生
使用教科書及び副教材		教科書 中学生の音楽 2・3 下（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社） 副教材 MY SONG（教育芸術社）			

音楽の学習で 目指すこと	知識・技能		・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解する。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることができる。
	思考力 判断力 表現力		・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することができる。 ・音楽を主体的に鑑賞し、評価しながらそのよさや美しさを味わうことができる。
	主体的に 学習に取り組む 態度		・主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験している。 ・音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養っている。
学習の 進め方	授業 について	心 構 え	・音楽や話をしっかりと「聴く」ことを心がけましょう。 ・どの分野にも意欲的に取り組みましょう。 ・仲間の考えを尊重しあい、お互いの音楽性を高め、全員で協力して進めましょう。
		各 分 野 で の ポ イ ン ト	・歌唱では、曲にあった表現を工夫しながら堂々と演奏しましょう。 ・鑑賞では、時代背景や音楽の仕組みを理解しながらよさや美しさを感じ取りましょう。 ・器楽では、音を読むことや楽器を演奏することに慣れ、積極的に演奏しましょう。 ・創作では、音符や休符の長さを理解し、様々なリズムに慣れましょう。
	家庭 学習		・クラシックの名曲を楽しむ。日本の伝統音楽に親しむ。 ・世界各地の歌に触れる。 ・時代とともに変化するポピュラー音楽を聞いて、その特徴を味わう。
	定期 テ ス ト		・配布されるテスト範囲表に書かれている教科書などのページやプリント類、授業中に学習したことをしっかり復習する。
学習上の 注意	・授業準備物を忘れないようにしましょう。正しい服装で参加しましょう。 ・毎時間、「めあて」に対してどれぐらい達成できたかをふり返り、次の授業へ生かしていきましょう。 ・話をよく聞き授業に集中して参加しましょう。 ・失敗や間違いを恐れずに素直な心で思い切り表現しましょう。 ・歌い合わせる楽しさ、ハーモニーの美しさ、みんなと音楽する喜びを味わいましょう。 ・鑑賞においては心を落ち着かせて聴きましょう。		

音楽科 3年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点		評価の場面・方法
オリエンテーション 斉唱の美しさ	授業の約束事を再確認 する 校歌、既習曲	4	知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・音楽を表現するための基礎的な技能を身につけている。	・授業観察 ・ふり返りシート ・定期テスト ・実技テスト ・鑑賞の記録
日本の歌にふれよう	「花」	5			
作曲者の思いを感じ 取って味わおう	「ブルタバ」	6			
クラスの歌声をつくろう	パート分け パート練習のスタート	7			
合唱の喜び	合唱コンクール課題曲 合唱コンクール自由曲	9	思考力・判断力・表現力	・音や音楽の良さや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫し生かすことができる。	・授業観察 ・ふり返りシート ・定期テスト ・実技テスト ・鑑賞の記録
		10			
名曲鑑賞	「ボレロ」	11			
心を込めて歌おう	卒業式歌	12			
心を込めて歌おう	卒業式歌	1	主体的に学習に取り組む態度	・音楽に親しみ、音楽を進んで表現することができる。 ・音楽に親しみ、音楽を鑑賞することができる。	・授業への参加状況（活動の様子、忘れ物、提出物） ・ふり返りシート
		2			
		3			

教科名	美術	週時数	1 時間	学年	3 年生
使用教科書及び副教材	教科書 「美術 2・3」(光村図書) 副読本 「美術資料」(秀学社)「レタリング字典」(秀学社)				

美術の学習で 目指すこと	知識・技能	・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表す。
	思考力 判断力 表現力	・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能美と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。
	主体的に 学習に取り組む 態度	・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組む。また、作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組む。
学習の 進め方	授業について	・3年生は集大成として、これまで学んだことを生かしながら、より主体的に作品の制作をすすめます。引き続き、ワークシートや言葉で考えを整理したり、学びあいを行い、言語活動の充実を図り、振り返りシートを使って授業への取り組みを振り返り、次の制作に活かせるようにします。 ・鑑賞では、美術作品や文化遺産、生徒作品などを教科書・美術資料・動画などで鑑賞し、ワークシートを使い自分の意見や感想を述べたり文章で表現したりします。 ・豊かな表現を支えるためにユニバーサルデザインした色彩の学習をおこなうために配色カードを利用し色覚のちがいを色名で補います。
	家庭学習	・制作に必要な準備物や道具を考えて用意し、宿題を忘れずにしましょう。 ・アイデアスケッチ等をためておき、作品で表現するときに使えるようにしておきましょう。 ・芸術や美術に興味を持ち、美術館に足を運んだり、美術関連の番組などを見たりしておきましょう。
	定期テスト	・授業内容を中心にワークシートや資料集の知識技能など、基礎基本についての総合問題を出題します。 ・鑑賞の学習では授業内容や背景、歴史などを総合的に出題します。まとめや復習をしておきましょう。
学習上の 注意	・各自の制作や授業に必要な資料や材料を準備し、制作に励めるようにしましょう。 ・提出物は期日を守って必ず提出しましょう。 ・根気よく制作に集中し、私語は慎みましょう。	

美術科 3年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価	
			評価の観点	評価の場面・方法
オリエンテーション	授業の取り組み方	4	知識・技能	・実習課題及び作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・定期テスト
北斎からゴッホへ	ゴッホと葛飾北斎を比較した鑑賞活動			
形と色の挑戦	色の配色や構成 粘土の立体制作 作品鑑賞	5		
		6		
風景に思いを重ねて 材料の可能性	鉛筆でモチーフの デッサン	7		
ゲルニカ、明日への 願い	『ゲルニカ』の作品 やその背景の鑑賞 ポップアートへの時 代変化について	9	思考力・判断力・表現力	・アイデアスケッチ ・実習課題及び作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・定期テスト
色を組み合わせる	配色とトーン ポップアートの制作	10		
		11		
		12		
石でつくる 日本の伝統工芸 【卒業制作】	石印のデザイン 作品鑑賞	1	主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・授業での様子 ・振り返りシート ・提出物
		2		
		3		

※授業の制作進度などによっては 内容が変更になる場合もあります。

教科名	保健体育	週時数	3 時間	学年	3 年生
使用教科書及び副教材		教科書「中学保健体育」(学研) 副教材「図解中学体育」(あかつき) 「保健学習ノート」(正進社)			

保健体育の 学習で 目指すこと	知識・技能		運動の基本技術・体力を身につける。 運動・体力の必要性を理解する。 健康・安全について、理解し、健康に生活する力と知識を身につける。
	思考力 判断力 表現力		自分や仲間の課題を発見することができる。 課題解決の方法を具体的に考え、合理的に判断することができる。 課題や解決方法を「ことば」で伝えることができる。
	主体的に 学習に取り組む 態度		運動を通して、公正・協力・責任・共生を積極的に身につけようとしている。 ※公正…正当なこと ※共生…体力や技能の違いを認め合い、そして、補い合うこと 健康・安全に留意して、運動に自主的に取り組んでいる。 自分や仲間の健康についての学習に自主的に取り組んでいる。
学習の 進め方	授業 について	体育分野	・自他の安全(用具や服装、身なり、ルールなど)に注意して、運動を行いましょう。 ・仲間と協力し、色々な運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わいましょう。 ・準備運動やトレーニングを毎時しっかり取り組みましょう。 ・自己の能力を向上することを目指しましょう。
		保健分野	・自己の健康・安全に興味を持ち、積極的に授業に参加しましょう。 ・健康の保持増進や回復についての知識を身につけていきましょう。
	家庭 学習		・規則正しい生活を送りましょう。 ・三度の食事を必ず取りましょう。特に朝食は1日のエネルギーです。 ・毎日、自ら決めた「運動」を継続していきましょう。
	定期 テスト		・各運動のルールや基礎知識・用語を理解しましょう。 ・授業中に経験した運動を「ことば」で説明できるようにしましょう。 ・健康についての基礎知識・用語を理解しましょう。 ・自他の「健康」を維持することの大切さを理解し、保持増進させる方法、回復の方法を「ことば」で説明できるようにしましょう。
学習上の 注意	・「できる」「できない」で判断するのではなく、「やる」「やらない」の取り組みで、「やってみる」のチャレンジ精神を持とう。 ・自分の能力を精一杯発揮し、最後まで粘り強く取り組もう。 ・日頃から健康管理に努め、欠席・見学をしないようにしよう。 ・指示をよく聞いて仲間と協力して、安全に活動しよう。 ・効果的で安全な活動を行うために、基本的な事柄(服装や身なりを整えたり、運動種目の規則を守るなど)に注意し取り組もう。		

保健体育科 3年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価						
			評価の観点	評価の場面・方法					
ガイダンス	授業の受け方・評価	4 5	知識・技能	【体育分野】 ○知識 ・運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、安全の確保の仕方について、言ったり、書き出したりしている。 ○技能 ・運動の特性に応じた基本的な技術や応用した技能ができる。 【保健分野】 ○知識・授業を通して、個人生活を中心として科学的に理解したことを言ったり、書き出したりしている。					
陸上競技	ルール・安全				・授業観察 ・学習カード ・定期テスト ・技能テスト ・記録 ・レポート				
	短距離								
	リレー								
体づくり運動	平田野エクササイズ								
	ストレッチ体操								
	補強運動								
	柔軟体操・集団行動								
新体力テスト	50m・ハンドボール投げ								
	持久走								
	握力・反復横跳び								
	立ち幅跳び								
	長座体前屈・上体起こし								
球技 (バドミントン)	基本の動き	6 7							
	ラリー								
	攻防・ゲーム・運営								
水泳	水慣れ								
	キック								
	平泳ぎ								
保健	健康な生活と病気の予防								
ダンス	リズムダンス・ステップ		9 10	思考力・判断力・表現力	【体育分野】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えている。 【保健分野】 ・授業を通して、個人生活における健康に関する課題を発見している。 ・健康に関する課題の解決を目指して科学的に思考し判断したことを他者に伝えている。				
	演技構成								
体育理論	文化としてのスポーツの意義								
保健	健康な生活と病気の予防								
球技 (ソフトテニス)	基本の動き					11 12			
	ラリー								
	攻防・ゲーム・運営								
陸上競技	持久走								
	心の鍛錬								
保健	健康と環境	1 2 3					主体的に学習に取り組む態度	【体育分野】 ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 【保健分野】 ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
	球技 (卓球)								基本の動き
ラリー									
攻防・ゲーム・運営									
球技 (バスケットボール)	基本技能の向上								
	ゲーム								
	戦術・作戦計画								
球技 (サッカー)	基本技能の向上								
	ゲーム								
	戦術・作戦計画								

教科名	技術	週時数	0.5 時間	学年	3 年生
使用教科書及び副教材		教育図書 技術・家庭科技術分野			

技術の学習で 目指すこと	知識・技能		- 情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組みを理解する。 - 課題にあわせてプログラムを作成することができる。 - 情報の処理の手順をフローチャートでかくことができる。 - 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる
	思考力 判断力 表現力		- 問題から課題を設定し、解決するための情報処理の手順を書くことができる。 - ネットワーク、センサ、等の特性を理解した上で設計を具体化することができる - プログラムについて、評価し、改善方法を考えることができる
	主体的に 学習に取り組む 態度		- 情報の技術について原理・原則を理解しているか振り返りつつ学習を進めようとしている - プログラムについて目的通り実装されているかを自己評価し、改善しようとしている - 課題を解決するための構想について試行錯誤している - 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、よりよい技術について考えることができる
学習の 進め方	授業 について	一斉学習	- 調べ学習や技術に関する調査を行う際は、コンピュータを必ず使用します。タイピングの練習等を行い、検索することができるようにしておきましょう。 - 問題を解決するために、粘り強く考えるようにしましょう。よりよい技術を考えるためには、課題を設定し、試行錯誤することが必要です。 - 授業内容は配布資料を活用しながら勧めます。分からない内容については、自分で資料を再確認するようにしましょう。
		製作学習	- 問題を解決するための設計が具現化する製作学習となります。構想や設計と異なる部分が出ることもあります。改善点を考えながら製作をしましょう。 - 製作したものについて、自己評価や他者評価を受け、よりよいものに改善できるようにしましょう。 - 問題を解決するための方法については、適切に公開するとともに、他者の解決方法を参考にすることは、適切に行いましょう。 - 製作においては、工具や機器は安全に配慮して使用するようにしましょう。
	家庭学習		- 毎授業でタイピングの技能テストがありますので、家庭学習でタイピングの練習をしておきましょう。 - ワークシートの内容を家庭でもインターネット等を活用して復習しておいてください。なお、コンピュータやスマートフォンがなく、確認ができない場合は学校においてコンピュータを使って実施してください。 - 学習した内容について、身の回りの技術を観察し、どのような工夫があるかを考えてください。授業における問題を解決するための思考が向上します。
	定期テスト		- 毎授業でタイピングの技能テストを実施します。 - 定期テストはマークシートおよび一部記述問題で行います。 - 問題を解決するために授業で考えたことを問う問題が出題されることもありますので、授業で学習した内容を振り返っておく必要があります。
学習上の 注意	- 製作学習においては、怪我防止のため安全指導・指示を行います。服装や髪型などの指示を守りましょう。 - 製作学習においては、作業工程や必要な工具等を考慮し、安全に行いましょう。 - 作業後の片付けや掃除については自主的に行いましょう。 - コンピュータの利用については、情報モラルに配慮し、適切に活用しましょう。		

技術科 3年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価	
			評価の観点	評価の場面・方法
「D情報の技術」	既存の技術の調査	4	知識・技能	・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる。 ・情報のデジタル化やシステム化に関する基礎的な技術の仕組みを理解する。 ・情報処理の手順をアクティビティ図でかける
	ネットワーク及びソフトウェアの実習	5		
		6		
		7		
	ハードウェアの設計プログラミング	9	思考力・判断力・表現力	・問題から課題を設定し、解決するための育成計画を立てることができる。 ・情報処理の手順を踏まえ、問題を解決するためのプログラムを設計することができる。例えば、情報処理の手順を順次処理、条件分岐処理などの表現を活用するとともに、センサで得る値の入力等についてもアクティビティ図でかくことができる。 ・製作の過程や製作物について、評価し、改善方法を考えることができる。
		10		
		11		
		12		
		1	主体的に学習に取り組む態度	・情報のデジタル化やシステム化に関する基礎的な技術について、理解しているかを自己評価し、理解できていない部分に対して進んで学習することができる。 ・問題を解決するために、設計を何度も考え直しながら試行錯誤し、問題解決のための最適解を導き出そうとしている。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、よりよい技術について考えて、技術の活かし方について提言することができる。
		2		
	評価	3		
				・小テストや定期テスト ・技能テスト（プログラミングなど）
				・構想図や設計図に関するワークシート ・製作（制作）の過程や製作（制作）物の評価に関するワークシート ・レポート
				・振り返りシート ・知識、技能に関する学習の様子（観察） ・設計に関する思考錯誤の様子（観察、ワークシート） ・技術の活かし方に関する考えや提言のワークシート ・レポート

教科名	家庭	週時数	0.5 時間	学年	3 年生
使用教科書及び副教材		教科書 New 技術・家庭 家庭分野 教育図書			

家庭の学習で 目指すこと	知識・技能		家族・家庭の基本的な機能について理解できている。 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、技能を
	思考力 判断力 表現力		安心・安全な生活を送るために課題を発見し、その課題を解決する力を身に付けている。 食品や衣服などの選択について考え工夫している。
	主体的に 学習に取り組む 態度		主体的に学習を進め、習得したことを生活に活かすことができる。 よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
学習の 進め方	授業 について	一斉 授業	・授業の持ち物を忘れないようにしましょう。 ・発問に対して、自分の生活の中から知っていることを考えましょう。 ・ワークシートに自分の考えを記入し、ファイルに綴じましょう。 ・「資料」や「図」を読み取りましょう。 ・実生活と結び付け、課題を見つけていきましょう。
		作業 学習	・作業や実習に必要な準備物を忘れないようにしましょう。 ・作業内容を確認し、安全に作業しましょう。 ・難しい作業などは家で練習しましょう。 ・作業や実習の反省や振り返りは、課題を見つけ、課題を解決するための方法などをたくさん書き
	家庭 学習		・授業で学習したことを家庭で練習したり、手伝いとして実践したりしましょう。
	定期 テスト		・持ち物や提出物は忘れないようにしましょう。 ・授業に集中し、発問には積極的に挙手しましょう。 ・後で見やすいようにワークシートに記入しましょう。 ・プリント類は順番通りに綴じましょう。 ・作業や実習では、集中して取り組み安全に気を付けましょう。
学習上の 注意	・持ち物や提出物は忘れないようにしましょう。 ・授業に集中し、発問には積極的に挙手しましょう。 ・後で見やすいようにワークシートに記入しましょう。 ・プリント類は順番通りに綴じましょう。 ・作業や実習では、集中して取り組み安全に気を付けましょう。		

家庭科 3年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点		評価の場面・方法
私たちの住生活	住まいの働きを知ろう	4	知識・技能	・家族の安全を考え、事故防止の対策について理解してる。 ・家族の生活と住生活との関わりがわかっている。 ・消費生活が環境におよぼ影響について理解してる。 ・売買契約の仕組みを理解している。	・定期テスト ・相互評価
	家族が暮らしやすい住まい方を考えよう				
	健康を守る室内環境の整え方を考えよう	5			
	家庭内事故から家族を守ろう	6			
	災害に備えた安全な住まい	7			
私たちの消費生活・消費者権利と責任	買い物をふり返ってみよう		思考力・判断力・表現力	・自分の消費行動を振り返り、改善しようとしている。 ・家族の安全を考えた住空間について考えることができる。	・授業観察 ・ワークシート ・定期テスト
	買い物の法的な意味を考えよう	9			
	いろいろな販売方法や支払い方法を知ろう				
	消費者トラブルを防ごう	10			
	消費者の権利について考えよう				
	消費者の責任について考えよう	11			
	消費者が社会に与える影響を考えて行動しよう	12			
	環境に及ぼす影響を考えて行動しよう	1	主体的に学習に取り組む態度	・消費者の権利と責任について、主体的に取り組もうとしている。 ・住居の機能と安全な住まい方について振り返ることができる。	・授業観察 ・振り返り ・授業中の発言 ・ワークシート
		2			
		3			

教科名	英語	週時数	4 時間	学年	3 年生
使用教科書及び副教材	「NEW HORIZON English Course 3」(東京書籍), エイゴラボ③(正進社), Wプリント(新学社), 英語マスターノート(明治図書)				

英語の学習で 目指すこと	知識・技能	1. 社会的な話題について知るために、ディスカッションやニュースを聞き要点をとらえることができる。(聞くこと) 2. 社会的な話題について知るために、説明文などまとまりのある文章を読んで要点をとらえることができる。(読むこと) 3. 社会で起きていることに関して、聞いたり読んだりしたことをもとに、考えを整理し伝え合うことができる。(やり取り) 4. 社会で起きていることに関して、聞いたり読んだりしたことをもとに、考えを整理しまとまりのある内容を話すことができる。(発表) 5. 社会で起きていることに関して、聞いたり読んだりしたことをもとに、考えを整理しまとまりのある内容を書くことができる。(書くこと)
	思考力 判断力 表現力	
	主体的に 学習に取り組む 態度	1. 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 2. 相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 3. 様々な工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。
学習の 進め方	授業 について	・グループワーク、ペアワーク、ALTの先生との会話、発表などに積極的に取り組み、英語をたくさん話すことに挑戦しましょう。 ・先生や友達の話す英語、CDの音声など、聞くべきところはしっかり聞いて、内容を理解する努力をしましょう。 ・教科書や単語、重要表現の音読には大きな声で取り組み、英語のリズムやイントネーションに慣れましょう。 ・単語や英文は根気強く音読しながら書く練習をしましょう。 ・ノートやプリントに、黒板を丁寧に書き写しましょう。 ・メロディーで着席し、授業の準備をきちんとしましょう。 ・友達や先生の話聞く姿勢にも気をつけましょう。
	家庭 学習	・進路実現に向けて、予習・復習、宿題をしっかりとしましょう。 ・授業で学習した本文や単語は、家でも音読練習をしましょう。 ・ワークやまとめのプリントをしたり、授業で使ったプリントを利用したりして、知識の定着を図りましょう。
	定期 テスト	・授業で扱った基本文や重要表現を英語で書けるようにしましょう。 ・授業中にチェックした本文は書けるようにしておきましょう。 ・ワークやプリント、授業で取り組んだ問題は何回もやり直しましょう。 ・ALTの先生と一緒に勉強した内容を聞いたり書いたりできるようにしておきましょう。
学習上の 注意	・分からないことがあれば先生や友達に聞いて、疑問点を解決していきましょう。 ・提出物は提出期限までにしっかりと取り組み、忘れず提出しましょう。もし忘れたときは申し出てください。 ・英語を使える場面では間違いを恐れず英語を使いましょう。「伝えたい」という気持ちを大切にしましょう。	

英語科 3 年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価	
			評価の観点	評価の場面・方法
Unit 0	Discover a New Side of Classmates	4	知識・技能	・課題で提出した英文の評価及びインタビューテスト ・Mini Activity の活動で使用したワークシートやノートで理解度や取り組み状況など ・本文の音読 ・本文の内容について聞いたり読んだりしたことの筆記テスト ・やり取りのパフォーマンステスト
Unit 1	What is special about Japanese pop culture ?			
Unit 2	How do you choose your clothes ?			
Unit 3	How can we save animals ?	5	知識・技能	・クラスメートと最近夢中になっていることやよくすることを伝え合うことができる。 ・日本のポップカルチャーの魅力を伝えることができる。 ・エシカルな商品をPRすることができる。 ・絶滅のおそれのある動物の現状を伝えることができる。 ・日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。 ・地域の一人として防災への取り組みを発表することができる。 ・情報を加えて理想のリーダーを紹介することができる。 ・地球市民としての抱負を伝え合うことができる。 ・主張とその理由を明確にしながらミニディベートをすることができる。
Unit 4	How can we help each other in a disaster ?	6		
Unit 5	What makes a good leader ?	7		
Stage Activity 1	Discover Japan	8	思考力・判断力・表現力	・授業中の言語活動の取り組み状況 ・Unit Activity の活動で使用したワークシートやノートの理解度や取り組み状況 ・本文の音読 ・本文の内容について聞いたり読んだりしたことの筆記テスト ・やり取りのパフォーマンステスト
Unit 6	What does it mean to be a global citizen ?	9		
Unit 7	What makes a good leader ?	10		
Stage Activity 2	My Activity Report	11	主体的に学習に取り組む態度	【聞くこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。 【読むこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。 【話すこと[やり取り]】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。 【話すこと[発表]】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。 【書くこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
Unit 8	What does it mean to be a global citizen ?	12		
Unit 9	What makes a good leader ?	1		
Stage Activity 3	Let's Have a Mini Debate	2	主体的に学習に取り組む態度	
入試対策		3		
		4		

特別の教科 道徳	年間学習計画
----------	--------

単元		主題名	月	道徳の学習について						
1 学 期				週時数	1	使用教科書	あすを生きる 3			
1	相撲を世界に	困難を乗り越えて	4							
2	世界一のロッカールーム	集団への貢献	5	道徳の学習でめざすこと	①お互いを認め合い、大切にし、高め合おうとする態度を育てる。 ②人の思いや生き方に共感し、差別の問題をなくそうとする態度を育てる。 ③自分の言動に責任を持てるようにする。					
3	あるレジ打ちの女性	仕事への向き合い方								
4	使い手を驚かせて魅了する	日本の伝統と創造								
5	違うんだよ、健司	友達という存在								
6	卒業文集最後の二行	いじめを許さない心	6		道徳の学習の進め方	・主に教科書、道徳ノートを使いながら授業を行います。 ・補助教材として、映像や資料を提示することもあります。 ・授業の終わりには、その1時間の「振り返り」を行います。				
7	命のトランジットピザ	国際社会で生きる								
8	エリカー奇跡のいのちー	生命をつなぐ								
9	私も高校生	自分で決める								
10	親友と語り合った「孤独の解消」	共に考える	7			評価について	・特別の教科道徳では、定期テストは実施しません。 ・学期末の通知表には、数値による評価ではなく、記述式の評価を行います。			
11	No Charity,but a Chance!	共に生きる社会の実現								
12	新しい夏のはじまり	将来に向けた生き方								
13	稲むらの火	地域社会のために								
2 学 期										
14	命の大切さ	豊かな人権感覚	9	目指す学校像 みんなが安心して過ごせる居心地の良い学校 道徳目標						
15	ゴリラのまねをした彼女を好きになった	認め合う関係								
16	カラフルな世界で	自分らしく生きる								
17	二通の手紙	法やきまりの意義								
18	世界を動かした瞳	気高く生きる	10	生徒の実態に合った課題を示し、多面的・多角的に考え、議論させる。						
19	電車の中で	思いやりの心と形								
20	失った笑顔を取り戻す	働くことの意味								
21	海のごみは「まちなか」で生まれる	社会全体で考える								
22	「川端」のある暮らし	自然との共生	11	道徳教育の指導方針 生徒の実態に合った課題を示し、多面的・多角的に考え、議論させる。						
23	ちょっと寄り道をー研究者・真鍋淑郎ー	探究する心								
24	町内会デビュー	自分から行動する								
25	臓器提供	かけがえのない生命								
26	独りを慎む	自制する心	12	考え、話し合ったことをもとに、自己の生き方を見つめ直す機会をつくる。						
27	マナーってなんだろう	マナーのもつ意味								
28	星空届けたい	感動がもたらすもの								
29	本とペンで世界を変えよう	世界平和のために								
30	生きてこそー石井筆子の生涯ー	信念をもった生き方								
3 学 期				生徒指導	学級・学校環境	家庭との連携	地域社会との連携			
31	塩むすび	周りへの感謝	1	・基本的な生活習慣を確立させる。(あいさつ、時間のけじめ、身だしなみ等) ・交通指導など安全指導を重視する。 ・毅然とした態度と生徒の心情を引き出す指導を行う。	・生徒間、生徒と教師間、教師間のよりよい人間関係、信頼関係の構築に努める。 ・清掃活動等を通じて、落ち着いて学校生活を送れる環境づくりを目指す。	・学校通信、学年通信、学校ホームページ、PTA広報を通して、教育内容を発信し啓発する。 ・家庭訪問を適宜行い、保護者との連携をとる。	・健全育成協力者会議等の各機関との連携を密にし、環境美化や交通安全等、健全育成に努める。 ・キャリア教育の取り組みである職業体験学習等で地域の人材、地域の素材を活用する。			
32	一冊のノート	家族の役割								
33	キラー・ゼブラと呼ばれて	規則への向き合い方								
34	サトシの一票	よりよい社会の実現								
35	希望	懸命に生きる	2							

[illegible]